



確かな学力の向上をめざして No.1

いよいよ新しい学年がスタートしました。年度の始まりにあたって、児童生徒が充実した学校生活を送れるように、教師が心がけなければならないことを再確認しましょう。

教師の姿勢 4つのポイント

1 児童生徒との信頼関係を築く

- 一人一人の表情をよく観察し、些細な変化も見逃さないようにしましょう。
- 一人一人の心に寄り添うために、教師から意図的に声かけをしましょう。
- 話をする時は、「聞き上手」を心がけ、まず児童生徒の気持ちを受け止めましょう。
- 日々、児童生徒に指導していることが自分ではできているかを振り返りましょう。



教師も生き生きと
子どもと一緒に楽しもう！



2 責任感と緊張感を持って授業に臨む

- 児童生徒の実態を把握し、単元全体を見通しながら、どのような資質・能力の育成をめざすのかを明確にした授業づくりを進めましょう。
- 児童生徒が対話を通してお互いに高め合うことができる授業を目指しましょう。
- 授業後や単元終了後に、めざす資質・能力が育成できているかどうかを振り返り、授業改善につなげましょう。
- 校内で気軽にお互いの授業を参観し合い、同僚の実践から学び合いましょう。
- エキスパート教員の公開授業など、よい授業を見る機会を自ら求めていきましょう。

3 組織としての対応を心がける

- 学校全体として取り組むと決めたことは、全職員で必ず実践しましょう。
- 小さなことでも「報告・連絡・相談」し、組織で対応するようにしましょう。
 - ・情報を共有することで一人の児童生徒を複数の視点で捉えることができます。
 - ・相談して複数で考えることで、より良い解決方法が見つかります。
- 会議や研修等で、メモをとる習慣を身につけましょう。（「記憶」より「記録」）



4 社会人としての自覚を常に持つ

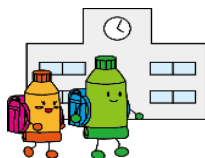
- 公務員としての立場を自覚し、TPOに応じて身なりを整えましょう。
- 保護者や地域の方と接する際は、相手の立場に立った対応を心がけましょう。
- 児童生徒にとって、よい大人のモデル（ロールモデル）になりましょう。
 - ・「丁寧な言葉遣い」、「時間を守る」、「清潔な服装」等



令和8年度中部教育局内分掌担当者を紹介します



分掌	担当者
学校教育指導の総括に関すること	熊谷係長
中学校教育課程に関すること・外国語教育に関すること	前川指導主事
特別支援教育に関すること	金田指導主事
幼児教育・架け橋期の教育に関すること	徳吉指導主事
生徒指導に関すること	青木指導主事
小学校教育課程に関すること・情報教育に関すること	中井指導主事
学力向上に関すること	中前指導主事
教育相談に関すること	岡空教育相談員
学力向上（数学・算数）に関すること	池口学力向上支援員
ICT活用教育に関すること	大羽教育DX推進員
特別支援教育（主に特別支援学級）に関すること	小木特別支援教育専門員
幼児教育に関すること	松田保育・幼児教育専門員



年度始め研修メニュー

新年度をスタートするにあたり、児童生徒の指導に対する共通理解を図ることはとても大切です。中部教育局は、各校に合わせたミニ研修を準備しています。やってみようと思われたら、中部教育局までお問い合わせください。

○いじめ問題の適切な対応について

○主体的な学びとは

○スタートカリキュラムの活用

○とっとり学力学習状況調査

○ICT活用について

○自立活動について

○教科の理論研

（国語・算数・社会・生活・総合的な学習の時間・特別活動・図工・道徳）

○全国学力学習状況調査

○英語の授業づくり

○非認知能力（学習方略）とは

○特別支援学級の環境調整について



令和8年度も中部地区の子どもたちの力をともに育てていきましょう。